

再生可能エネルギー 2006 国際会議

NGO サイドイベント

国際自然エネルギー共育シンポジウム

「エネルギーを市民の手に」ネットワークの可能性

地球の未来にとって自然エネルギーの普及は必要不可欠であり、自然エネルギーとともに生活する社会、つまり自然エネルギー100%の社会を実現するための取組が求められています。

その意味で、自然エネルギー普及に関する環境教育の重要性は大きいものがあります。自然生態系を学ぶ自然学校は多くあっても、自然エネルギー学校は数少ないのが現状です。昨年、愛知万博と平行して行われた自然エネルギー共育シンポジウムでは中国、マリ、イギリス、ドイツおよび日本の自然エネルギー共育を先進的に取り組む NGO が自分たちの取り組みを披露し、自然エネルギー社会の未来を語り合いました。多重で、協同した教育つまり共育が必然的に求められます。

今回は世界各地で取り組まれている自然エネルギー共育のベースを共通化することで、よりグローバルな観点から、自然エネルギー100%による地球の未来を展望できる方策を探ります。また、世界的な情報交換ネットワーク構築についても話し合います。

日時:2006年10月13日(金)13:30~16:30

会場:幕張メッセ・国際会議場内 2階 コンベンションホール B

千葉市 京葉線海浜幕張駅徒歩5分

主催:「光と水のエネルギー広場」

NPO 法人ワーカーズコープエコテック

パネルディスカッション

コーディネーター 都筑 建 (「光と水のエネルギー広場」実行委員会代表)
(NPO 法人ワーカーズコープエコテック理事長)

パネラー

< 海外から >

韓国エネルギー代案センター代表 LEE Pil - Ryul 氏

< 国内から >

森と風のがっこう(岩手子ども環境研究所市民研究員) 黍原 豊氏

かごしま市民環境会議 代表世話人 村山 雅子氏

資料代:500円

お問い合わせ

NPO 法人 ワーカーズコープエコテック

東京都台東区小島2-2-9 小島町ビル401

電話:03-6914-7300 FAX:03-3914-7301

事務局 e-mail:npo_info@ecotech.net

